



シリーズ
第18章

野菜のおいしさとともに、農業の魅力を発信したい

寺田 真由美さん

株式会社寺田農園 代表取締役



かがや 輝く女性 高山で活躍するみなさんの今

県は県内で活躍する女性や子育てを応援する企業を平成26年から認定。うち、市内には23人の女性と3つの企業があります。高山で活躍する“みなさんの今”を連載で紹介します。

全国で2番目のトマトの出荷量を誇る高山市の中で、トマトの生産・加工・販売を手がける寺田真由美さん。平成22年に寺田農園を設立し、トマトの6次産業化を開始。平成25年度には「女性の感性を生かして農業の新しい可能性を追求し挑戦、実践する姿は、これから農業に取り組もうとする若者のモデル的存在になる」と評価され、農山漁村男女共同参画優良活動表彰で農林水産大臣賞を受賞しています。

「農作業だけが農業ではない。販売などで女性が活躍できる場があると思うんです」
と話す寺田さん。生産・加工・販売の工程や衛生管理、対面販売に女性のきめ細かな感性は欠かせません。また、スタッフも職場を離れば一消費者。試作品や新しいアイデアなど消費者目線・主婦目線の意見も大切にしています。

「会社のコンセプトは「シンプル」であること。簡単に食べられる物、手軽に手にとってもらえることを第一に考えています」

寺田農園では、トマトやリンゴのジュースのほか、カレーやピュレなど素材の味を生かし、簡単に食べられる商品を生産・販売しています。また、素材となる農作物そのものも飛驒の恵まれた環境で素直に育て、季節の味を感じられるようにしています。

このようなコンセプトのもと、生産・加工・販売を一体で行う中で、農業そのもののイメージを変え、魅力的な農業スタイルづくりを目指したいといいます。

「子どもたちが将来就きたい職業に、農業が入るといいな」

そう語る寺田さんは昨年、岐阜県HACCP認証および岐阜県GAP認証を取得し、伝統的に農業を行うための環境を整備。将来は、さまざまな農作物が実る中で飛驒の四季を感じ、新鮮な野菜を味わうことができる場所を創りたいと、楽しい農業、魅力的な農業スタイル構築への思いは尽きません。

広報 市長だより

84

新成人の皆様へ

高山市長 國島芳明

今年には市内で1,039人が成人を迎えました。新成人の皆様は、将来への大きな夢と希望を抱き、また、社会人としての権利と義務を担う自覚を持ち、心新たにされていること存じます。

今年には新しい元号となり、時代が大きく変わる年でもあります。高山市におきましても、第八次総合計画の見直しを行う重要な年であり、5年後、10年後の市の姿を見据え、どう対応していくのか、そのために今何をしなければいけないのかを十分に検討し、中長期的な展望を描いていく年でもあります。

また、今年には県議会議員、市議会議員、参議院議員の選挙が予定されています。新成人の皆様は選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた時からその権利を有しておられますが、成人を機に、改めてその大切な権利を無駄にせず、貴重な1票を投じていただくことを願ってやみません。

新成人の皆様におかれましては、ぜひ故郷飛驒高山の将来像に思いを馳せていただき、希望ある輝くまちの実現に向けて、若い力を発揮していただくとともに、溢れんばかりのアイデアを故郷高山に示していただくことを期待いたしております。

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日



2月14日(木)

午前9時～11時45分

※事前にご予約ください

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●32-7000

問合先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル

検索

編集・発行/高山市総務部広報情報課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL/0577-32-3333(代)

FAX/0577-32-7000 (市長室直通)

FAX/0577-35-3174 (広報情報課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp

HP/http://www.city.takayama.lg.jp/

携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

☎0577-35-6000